

大船中央病院

新任医師紹介

平成29年10月2日 呼吸器病センター 着任

栗林 英彦 医師



【経歴】

2000年3月 日本医科大学医学部卒業
2000年5月 日本医科大学付属病院呼吸器内科入局
2002年5月 日本医科大学付属病院呼吸器内科助手
2002年7月 慈山会医学研究所付属坪井病院内科医員
2005年4月 国立がんセンター研究所プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクト リサーチレジデント
2007年7月 日本医科大学付属病院呼吸器内科研究生
2009年4月 日本医科大学付属病院呼吸器内科助教・医員
2009年11月 日本医科大学千葉北総病院内科助教・医員
2013年4月 東京都立広尾病院呼吸器科医長

【資格】

日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本内科学会認定内科医

10月に着任致しました栗林英彦と申します。歴史の匂いと賑わいを併せ持った大船という土地に惹かれ、また昨年開設された呼吸器病センターの活気に魅力を感じて、お世話になることを決めてまいりました。

大学院で肺がんの病理学をかじり、腫瘍マーカーの研究に首を突っ込んだ後は、約10年間ひたすら地域医療の現場で呼吸器疾患の患者さんたちと向き合って来ました。呼吸器疾患は、肺がんや慢性閉塞性肺疾患（COPD）が典型ですが、高齢の方に多い傾向がありますので、超高齢社会の縮図である鎌倉市において、私たちがお役に立てる機会はそれなりにあるのではないかと考えています。とはいえ、全くの新しい土地ゆえまだ右も左もわからない、というのが正直なところです。

何卒宜しくお願い致します。